

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
25	26	27	28	29	30	1 旧閏5/8 赤口
2 旧閏5/9 先勝	3 旧閏5/10 友引	4 旧閏5/11 先負	5 旧閏5/12 仏滅	6 旧閏5/13 大安	7 旧閏5/14 赤口	8 旧閏5/15 先勝
9 旧閏5/16 友引	10 旧閏5/17 先負	11 旧閏5/18 仏滅	12 旧閏5/19 大安	13 旧閏5/20 赤口	14 旧閏5/21 先勝	15 旧閏5/22 友引
16 旧閏5/23 先負	17 旧閏5/24 仏滅 海の日	18 旧閏5/25 大安	19 旧閏5/26 赤口 食育の日	20 旧閏5/27 先勝	21 旧閏5/28 友引	22 旧閏5/29 先負
23 旧6/1 赤口	24 旧6/2 先勝	25 旧6/3 友引	26 旧6/4 先負	27 旧6/5 仏滅	28 旧6/6 大安	29 旧6/7 赤口
旧6/8 先勝 30	旧6/9 友引 31					



●県産品奨励月間……………1日～

2017 6						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

  

2017 8						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

今月のウチナー行事  
「五月ウマチー」  
旧暦5月15日

五月ウマチー



五月ウマチーとは、稲麦四大祭のうちの「稲穂祭」で、旧暦の五月十五日を中日として、その前後三日間にわたって営まれます。沖縄本島では「グングツツィ(チ)ウマツィー(チー)」と言っていますが、地域によっては初穂を意味する言葉から「シキヨマ」、「シチュマ」とも呼ばれているようです。五月ウマチーは、稲の豊作を予祝してその初穂を仏壇や火の神に供え、また収穫に向けて一定期間、物忌み(男の肥料かつぎや婦女の針仕事は厳禁で、その期間は村中の男女が農事を休み、汚れを払うこと)を行ったようです。収穫間近かのある時期に物忌みをするのは、沖縄だけでなく中国や本土にも見られる風習で、「収穫という晴れの儀礼」を控えて、それまでに汚れを払い、心身を清浄に保つという信仰的な意味が共通して含まれていたからです。

※今年はグングツツターチャー(5月が2回あるという事)です。本来なら先の五月にウマチーを執り行います。



七月や  
年折り返し  
水の走い

今年もう半分が過ぎました。早いものですね。小学校1年生は学校で夏の花、朝顔を植え「早く大きくなれ」とそれはそれは大切に水かけをします。

朝顔の 発芽喜ぶ  
いちねんせい

植物を育てる心がいつまでも続くように、農業に携わる人が増えますように。近年わが国の農業人口が激減しており、約25年前の1990年に480万人を超えていたが、現在200万人を割ってしまった。高齢者の離農が進んでいる上に若者の就農も伸び悩んでいる現状です。みんなが農業を中心に暮らしていたのは過去の良き時代なのでしょう。

おじいさん  
芝刈り忘れテレビ見る  
おばあさん  
川に行かずに洗濯す

今月の調理器具の説明  
シリシリ

一家に一つあると言っても過言ではないほど、沖縄県では欠かせない道具です。主ににんじんをせん切りにすることが多いですが、大根や青パパイア、きゅうりなどの野菜を細く切る時に使うこともできます。シリシリは、おろすという意味の方言で、その動作からきたものと言われています。道具を表す言葉として「シリ」があり、「デーケニシリ(大根おろし)」、「ソーガシリ(生姜おろし)」などがあります。一方「デーケニシリシリ」「ソーガシリシリ」は本来「おろしたものを表す言葉ですが、現在では道具そのものを表すことでもあります。

かたいちがな なんかしくわち〜  
沖縄県学校栄養士会

公益財団法人 沖縄県学校給食会  
〒900-0029 沖縄県那覇市旭町115番地15 TEL (098) 867-1493  
E-mail: okigakkyu@okigakkyu.or.jp URL://www.okigakkyu.or.jp/